2026年3月13日

2026年2月度 送電電力量 実績のお知らせ

2026年2月度 送電電力量 実績

5発電所合計

送電電力量	**45,699 MWh**
CO_2排出抑制量	**19,331 t-CO_2**
木材購入量	**約 59,000 t**

エフオン白河

送電電力量		**7,381**	MWh
CO_2排出係数		**0.423**	t-CO_2/MWh
CO_2排出抑制量		**3,122**	t-CO_2
木材購入量	約	**11,000**	t

エフオン日田

送電電力量		**7,408**	MWh
CO_2排出係数		**0.423**	t-CO_2/MWh
CO_2排出抑制量		**3,134**	t-CO_2
木材購入量	約	**9,000**	t

エフオン豊後大野

送電電力量		**11,203**	MWh
CO_2排出係数		**0.423**	t-CO_2/MWh
CO_2排出抑制量		**4,739**	t-CO_2
木材購入量	約	**15,000**	t

エフオン新宮

送電電力量		**8,625**	MWh
CO_2排出係数		**0.423**	t-CO_2/MWh
CO_2排出抑制量		**3,648**	t-CO_2
木材購入量	約	**10,000**	t

エフオン壬生

送電電力量		**11,082**	MWh
CO_2排出係数		**0.423**	t-CO_2/MWh
CO_2排出抑制量		**4,688**	t-CO_2
木材購入量	約	**14,000**	t

エフオングループの木質バイオマス発電所は、FIT・FIP制度に基づいて電気を供給しており、CO_2排出削減価値は受益者に帰属いたしますが、その数値を併せて記載しております。

また同月中に購入した、B.未利用木材由来、C.一般木質由来　の燃料の量を記載しております。なお、B.未利用木材とは、主に森林経営計画に基づいて伐採された樹木を指し、これを破砕もしくは切削してチップにしたものを発電燃料として利用しています。これらの燃料用木材は森林において伐採収集される樹木の内、素材としての利用が難しいものが発電用として活用されています。この結果、森林施業後に林地に残置される倒木が無くなり、再造林がスムーズに行われております。

※１　電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）令和8年1月9日環境省・経済産業省公表値。
エフオン日田およびエフオン豊後大野は九州電力送配電㈱、エフオン白河は東北電力ネットワーク㈱、エフオン壬生は東京電力パワーグリッド㈱、エフオン新宮は関西電力送配電㈱の排出係数を使用。

※２　CO_2排出抑制量（送電電力量×CO_2排出係数）は、全電源平均係数と木質バイオマス発電による発電を比較した削減効果を算出。

※３　CO_2排出抑制量は、小数点第1位を四捨五入し記載。

※４　再生可能エネルギーによる電力のCO_2排出係数はゼロ。